

# THE UKI NEWSLETTER

## 市民の安全のために

### 「防災拠点センター」を建設しています



三角防災拠点センターの外観イメージ図

#### 災害に強いまちづくり

熊本地震からの一日も早い生活再建を目指し、平成30年3月に策定された「宇城市復興まちづくり計画」。

この計画に基づき、災害公営住宅の建設や防災拠点センターの整備を進めています。同センターは、災害に強く安心安全なまちづくりに重要な機能を発揮します。

図 防災消防課 ☎32-1766

部屋種類	場所	平常時の利用内容	災害時の機能
コミュニティ室	三角	・防災講演会など啓発活動の場 ・イベントや総会、一般貸し出しなど多目的に利用	避難所 (長期避難時は海路物資拠点)
	不知火 松橋東 松橋西 豊野		避難所
	小川		避難所 (長期避難時は陸路物資拠点)
研修室 会議室	共通	防災に関する講習会や各種会議・研修の場	避難所
学習ルーム	松橋西	幅広い世代の自主学習の場	避難所
防災情報コーナー		防災に関する資料などの展示スペース	災害時の情報掲示板やテレビによる情報収集を行う場
炊出し室	共通	炊出し訓練の場	避難者の食事を準備する場
洗濯・シャワー室		訓練時の洗濯やシャワールーム	避難者の洗濯やシャワールーム

その他に管理室、倉庫、保管庫が備わっています

地域の実情に合わせた施設を備えているため、平常時は住民の憩いの場として、イベントや地域学習でも利用することができます。

また、普段から利用することで、いざという時にここへ行けば安全だという安心感につながればと考えています。

#### 防災拠点施設

災害時は避難所や地域防災組織の本拠地として、平常時には防災学習や防災訓練、地域社会活動や教育・福祉事業の活動の場として活用される。

各自治体が個別に策定する「地域防災計画」に基づき定義されるため、役割や機能は地域の実情により異なる。

#### 防災拠点センターの意義と災害発生時の機能

防災拠点センターは、市民の防災に関する知識の向上と防災意識の啓発を図るために建設するものです。

災害発生時には、拠点避難所となります。市内6カ所に建設する全てのセンターには、非常用電源設備や防災井戸、マンホールトイレなどの防災設備があり、市民の安心安全を守る拠点としての役割を果たします。

#### 防災備蓄倉庫

災害に備えて食料や飲料水、毛布や発電機などの防災器具を備蓄する防災備蓄倉庫も整備しています。駐車場や敷地内通路、トイレな

#### ESDジェームズ SDGs に向けた取り組み

1月28日、宇城市を含む熊本市など18市町村で構成する熊本連携中枢都市圏の首長会議で、2050年度までに圏域の温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す宣言をしました。これから地球温暖化対策実行計画を共同で策定していきます。



環境省シンポジウムで大西熊本市長が宣言

#### ビジネスチャットを試験導入

1月から、県内の自治体で初めてとなるビジネスチャットの試験導入を開始しました。これは、業務の生産性向上や働き方改革につなげることを目的に導入したものです。

#### LOGOチャット



㈱トラストバンクの提供

市長政策室 ☎(32)1803

などをバリアフリー化し、昇降設備やAEDも備えるなど、安心安全な施設整備に取り組んでいます。



10月に完成した松橋防災備蓄倉庫

#### 開設時期(予定)

- ◆ 三角 7月
- ◆ 不知火 8月
- ◆ 松橋東 12月
- ◆ 松橋西 12月(仮オープン)
- 令和3年7月(オープン)
- ◆ 小川 令和3年1月
- ◆ 豊野 7月

#### PICK UP! 共助の力を養う住民の憩いの場として

同センターは、防災活動だけでなくスポーツや文化、コミュニティ活動を通じて、市民が共助の力を培う場にもなります。

従来、職員同士の業務のやり取りはメールや電話、書類の回覧などアナログな方法が主流で、それらにかかる労働時間や人件費などのコストが課題となっていました。これをビジネスチャットに変えることで、大人数への情報伝達でも一度の報告で完了。簡単な会議であれば、パソコン上で情報の共有や意見交換が可能になります。また、内容の履歴も残るので、仕事の進行具合も簡単に把握できるようになります。職場のパソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも利用できることから、今後は、出張先や外出先、災害時の活用も検討していきます。